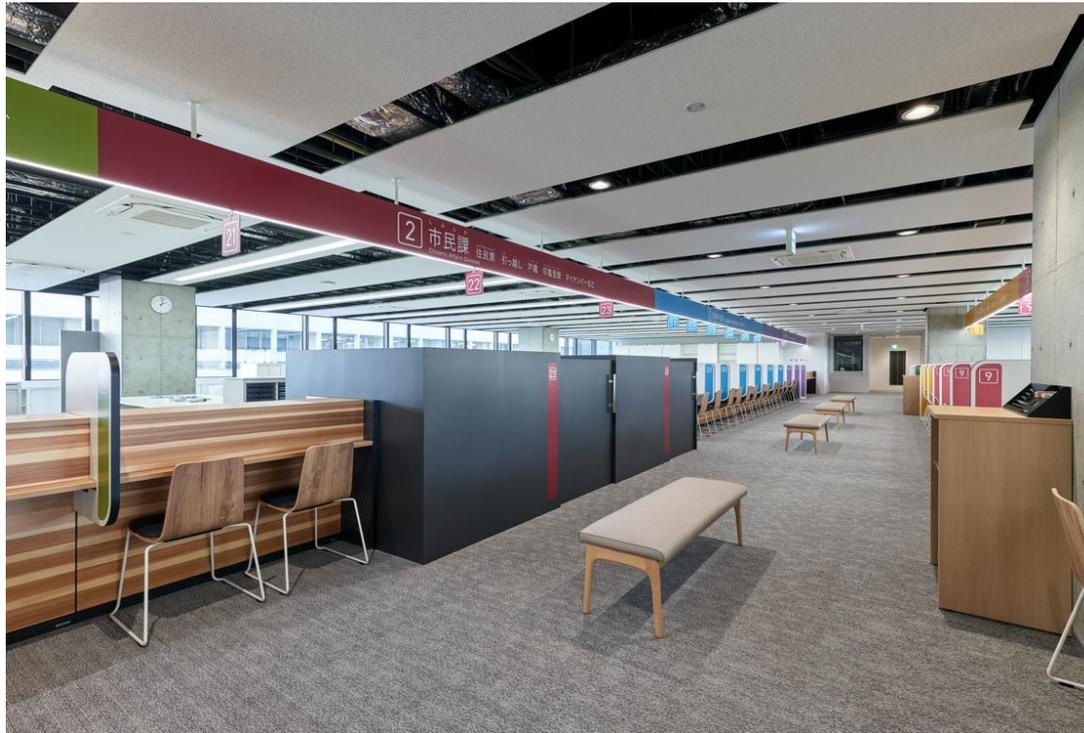


## 御坊市らしさを取り入れた 温かみのある新庁舎



### 窓口

きめ細やかな対応ができるよう、来庁者の手続き内容に応じてハイカウンター・ローカウンター、半個室ブースを配置。



**みやこ姫ロビー** 宮古姫伝説をモチーフにした内装で、髪・くしを表現した木製壁。宮古姫の着物をイメージしたブルーバーは時間で色が変化する。



### 総合案内

3か所の風除室からの来庁に対応できる位置に配置し、各フロア窓口をサインを利用し案内。紀州産木材を利用した案内カウンター・サイン表示により温かみを感じる。

令和 6 年 1 月現在

### プロジェクトの詳細

開庁	: 令和6年1月4日
人口	: 約21,500人
対象人員	: 約260人
延べ床面積	: 7,724.48㎡
建物概要	: 鉄筋コンクリート造 地上6階
委託業務	: 御坊市新本庁オフィス環境 整備業務委託 御坊市新庁舎サイン整備 業務委託



オカムラHPでも  
ご覧いただけます

令和6年1月、御坊市新庁舎が開庁しました。新庁舎は南海トラフ巨大地震が懸念される中、浸水が想定される現庁舎敷地内に建て替えられており、主要な庁舎機能を2階以上に配置し免振装置を導入、3日間稼働する自家発電機や太陽光パネルなどを設けるなど、災害に耐えられる構造としました。また、外付け階段があり、災害時には津波避難ビルとして約600人を収容できるよう整備されています。

行政サービスの点では、市民の利用頻度の高い窓口を2階に集約し、きめ細やかな対応ができるよう、相談内容に合わせた各種窓口カウンター・相談ブースを配置しました。また、来庁者を迷わせない、わかりやすい窓口誘導とするため、部署毎に色分けしたパラペットサイン・カウンターサインを整備しました。動線にある各サインと連動し、色分けにより誘導することで、迷うことなく来庁者が目的窓口にたどり着けるよう配慮されています。加えて、相談カウンターやサイン、庁舎内外装に紀州産木材が利用されており、地域らしさを感じ、温かみのある設えとなっています。(一部に森林環境譲与税利用)

このように、市民の安全確保に重点を置き、また御坊市らしさを随所に施した新庁舎は、市民の憩いの場として親しまれ、まちを活性化させるシンボルとしてランドマークとなることが期待されています。

## 御坊市らしさを取り入れた 温かみのある新庁舎



### 多目的ホール

ガラス張りの空間にすることで、外部からもイベントや市民活動の様子を感じることができ、屋外スペースと連携利用し、庁舎に活気を生み出す。



### 窓口

市民利用の多い窓口を2階に集約。部署毎にパラペットサイン・セグメントパネルを色分けすることで動線からも見やすく、目的窓口が分かりやすい。



### 市民課窓口 半個室ブース

利用のプライバシーに配慮した半個室ブースを配置。スライド扉にすることで車椅子の方も利用者しやすい。



### カウンターセグメントパネル

パラペットサインと連動した配色に、相談窓口のブース番号を設定。職員はブース番号で来庁者を呼び出し相談対応する。



### 窓口カウンター

紀州産木材を活用することで、窓口全体が温かみのある雰囲気となり、地域らしさを感じることができる。



### 執務席

ユニバーサルレイアウトを採用することで、組織変更や将来変化に柔軟に対応できる。異動時には、手荷物とワゴンの移動のみとし、ランニングコスト削減にもつながる。



### ワークブース

教育委員会執務室に配置し、遠隔の教職員との打ち合わせや電話対応に活用。遮音性に優れており、周囲への音漏れを気にせず利用できる。



### 全景

日高別院のイチョウをモチーフとした段床式議場。傍聴席を議員席から連続した段床式とすることで、議場の臨場感を味わうことができる。



### 傍聴席

市民聴講用席と格納天板付きの記者席を配置。



### エレベーターホール 総合案内・フロア案内

フロア移動の際に窓口が確認できる総合案内、所在フロアの平面配置、窓口番号が分かりやすいフロア案内を配置。



### 紀州産木材

サインの素材の一部に紀州産木材を利用。サインの一部に刻印し、木材活用について市民に紹介。



### ロールスクリーン

多目的スペースのガラス面を利用し、御坊市の花や景観を紹介。